

来春4月に小学校入学児童の保護者へMR II期の接種はお済みですか？

麻しんは、空気感染し感染力がインフルエンザの6倍以上と大変強く、時に命に関わる重篤な感染症です。ワクチン接種は、麻しん風しん感染予防にとっても有効です。対象の方には通知書を送付しています。体調を整え、早めに接種しましょう。

対象 平成26年4月2日～平成27年4月1日生
(小学校就学前)

期限 令和3年3月31日まで

場所 指定医療機関

料金 無料(上記対象年齢以外の方は全額自己負担)

※長期にわたり療養を必要とする疾患等、やむを得ない事情で接種を見合わせている場合、宜野湾市保健相談センターまでご相談ください。



指定医療機関は市ホームページを
ご確認ください▶

風しんの抗体検査・予防接種を受けましょう！

公的な接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性は、抗体保有率が他の世代に比べて低くなっています。抗体検査の結果、十分な量の抗体がない方は、定期接種として予防接種を受けることができます。この機会に、風しん抗体検査・予防接種を受けましょう。

対象 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ男性

費用 1人につき1回まで、風しん抗体検査とMR(麻しん風しん混合)ワクチンの定期予防接種が無料で受けられます。

場所 県内および全国の協力医療機関(詳しくは厚生労働省HPをご覧ください)

※クーポン券を紛失された場合は、再発行が可能です。宜野湾市保健相談センターまでお問い合わせください。



厚生労働省ホームページは
コチラ▶

小学校6年生～高校1年相当の女の子と保護者の方へ大切なお知らせ

子宮頸がん予防ワクチンの定期接種について(情報提供)

子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)は、平成25年4月1日から定期接種となりましたが、同年6月から現在に至るまで、厚生労働省の勧告(※)に基づき、対象者への積極的な勧奨を控えています(個別通知を行っていないが、希望者は公費で接種が可能)。

この度、国の方針が見直され、接種対象者またその保護者に、公費によって接種できるワクチンの一つとしてHPVワクチンがあること、子宮頸がんやHPVワクチンの効果やリスクについて知っていただくことを目的に情報提供することとされました。つきましては、下記のQRコードより厚生労働省作成のリーフレットをご確認ください。なお、このお知らせは、接種を勧奨するものではありません。

(※) H25.6.14付「ワクチンとの因果関係を否定できない副反応(持続的な疼痛)がHPVワクチン接種後に特異的にみられ、同副反応の発生頻度等がより明らかになり、国民に適切な情報提供ができるまでの間、定期接種を積極的に勧奨すべきではない」旨の勧告が出されました。



子宮頸がん予防ワクチンについて

ワクチンの効果や安全性等については、厚生労働省のホームページに掲載しておりますリーフレットをよくご覧いただき、十分理解したうえで接種を受けてください。

対象者 小学校6年生～高校1年生に相当する女子
接種回数 3回(標準的には初回接種から終了まで6カ月かかります)
費用 無料(指定医療機関での接種かつ対象期間・年齢内の接種)
期限 高校1年生に相当する年度の末日(3月31日)まで
場所 指定医療機関
※接種希望者は、予防係までお問い合わせください。

子宮頸がん予防ワクチンについては、コチラ▶
(厚生労働省HP)



指定医療機関については、コチラ▶
(市ホームページ)

20歳を過ぎたら子宮頸がん検診を受診しましょう！